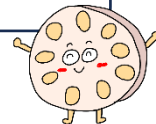




○経営方針 **あいさつとありがとうで あったかい学校に**

～ 子どもと向き合い、家庭に寄り添い、地域とともにある学校をめざして ～

【スローガン】「大好きな学校に・大好きな家庭に・大好きな地域に」



ありがとうの輪が育てた感謝の実

ありがとうって言ったら みんなが笑ってる その笑顔がうれしくて 何度もありがとう
町中に咲いてる ありがとうの花 風に吹かれ 明日に飛んでいく
ありがとうの花が咲くよ 君の町にも ホウいつか
ありがとうの花が咲くよ みんなが笑ってるよ 《後略》「ありがとうの花」作詞作曲 坂田おさむ

この歌に乗せて、子どもたちが書いた「ありがとうカード」をお昼の放送で紹介しています。毎日たくさんのカードが届けられ、今では「ありがとうの木」も色とりどりの花でいっぱいになりました。その中には、保護者や地域の方から寄せられたカードもあり、ありがとうの輪が校外にも広がっていることを大変嬉しく思っています。そのおかげか、先日地域の方からもこの取組の背中を後押ししてくれるような心温まる素敵なメッセージが立て続けに舞い込んできました。

一つ目は、実家が愛宕地区にある40代の女性の方で、父親の通院帰りに家の前の道路脇に車を止めて、車椅子に乗る父親の世話をしていたところ、自転車で通りがかった中高学年位の女の子が立ち止まって、「こんにちは。大丈夫ですか？」と声をかけてくれたというお話でした。二、三言言葉を交わしただけのわずかなやりとりでしたが、この方は父親の介護で心身共に疲れ果てておられた時だったそうで、このひと言が心に染みて涙が出るほど嬉しかったとおっしゃっておられました。

二つ目は、80代の女性からで、「子どもたちがよく挨拶をしてくれる。出会う子どもが次々に挨拶をしてくれるので、挨拶を返すのが大変だけれども、遠方に住んでいる孫が話しかけてくれるみたいで元気が出る。今までいろいろな町に住んできたが、こんなに挨拶をしてくれるところはなかった。」という内容のお話でした。

子どもたちのひと言が、地域の方に元気を与え、活気をもたらし。このことを体現してくれた愛宕小の子どもたちを誇りに思います。今後もこのような子どもを育み、子どもたちが持つ力を地域に還元し活力を与えていけるよう心を耕してまいります。

今年一年、子どもたちを温かく見守り支えてくださりありがとうございました。

11月の『陽だまり』



■ 1年生が保育園の年長児さんと交流学習を行いました。先輩1年生は、それぞれのコーナーで張り切って後輩たちをもてなしていました。

■ バザーの日に家庭教育支援チームの皆さんが、ブースを開いて、会を盛り上げてくださいました。

